

議会運営委員会 会議録

日 時 令和7年12月2日（金曜日）

午前8時45分開会、午前8時50分閉会

場 所 第3委員会室

日 程

1 開 会

2 委員長挨拶

3 議長挨拶

4 協議事項

（1）請願・陳情によらない意見書の提出について

介護保険制度の抜本改革、大幅な処遇改善を求める意見書の提出について

（2）その他

5 閉 会

出席委員（7名）

委員長 篠塚 昌毅

副委員長 平石 勝司

委 員 今野 貴子

委 員 島岡 宏明

委 員 矢口 勝雄

委 員 奥谷 崇

委 員 田中 義法

欠席委員（0名）

その他出席した者

議 長 勝田 達也

副議長 鈴木 一彦

議 員 古沢 喜幸

事務局職員出席者

局 長 櫻井 良哉

次 長 小野 聡

係 長 津久井 麻美子

主 任 岩松 英統

主 幹 高橋 陽平

主 事 古宮 英剛

傍聴者（0名）

○篠塚委員長 ただ今から議会運営委員会を開会いたします。傍聴はございませんか。

(「ございません」との声あり)

○篠塚委員長 それでは、議長からよろしくお願いします。

○勝田議長 おはようございます。議会運営委員会の皆様には、大変お忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。慎重なる御審議、御協議をいただきますよう、よろしくお願いします。以上です。

○篠塚委員長 ありがとうございます。それでは、早速協議事項に入ります。サイドブック、議会運営委員会、12月2日開催フォルダをお開きください。協議事項(1)請願・陳情によらない意見書についてでございます。介護保険制度の抜本的改善、大幅な処遇改善を求める意見書の提出について、日本共産党土浦市議団より提出されましたので、御協議をお願いします。それでは、日本共産党土浦市議団、古沢議員がいらっしゃいますので、説明のほうよろしくお願いします。

○古沢議員 おはようございます。介護保険制度の抜本改善、大幅な処遇改善を求める意見書の提出について、その趣旨を読むことで説明に代えたいと思います。介護保険制度開始から25年が経過しています。利用料や施設の居住費、食費の負担が重く、必要な介護サービスを受けられない人が増えています。総務省の調査によれば、2022年の1年間で介護、看護を理由に離職した人は約10万6,000人に上り、毎年ほぼ10万人前後が介護離職をしている状況です。低く据え置かれた介護報酬により、介護事業所は深刻な経営難に直面し、2024年の倒産、休廃業は784件と過去最多となっています。特に訪問介護は基本報酬引下げの影響で、事業所がゼロになった自治体が増加しています。介護現場の人手不足も深刻です。政府は2026年度に介護職員25万人不足すると見込んでいます。肝心の処遇改善は遅々として進んでいません。2024年度の全産業平均との賃金格差は、前年度月額約6万9,000円から8万3,000円へ広がっています。こうしたなか、利用者2割負担の拡大や、ケアプランの有料化、要介護1、2の生活援助の保険給付外しなど、更なる負担増、サービス縮小が検討されようとしています。全ての人が安心して介護を受け、介護従事者も尊重される制度の実現には、国の財政支援の強化による制度の抜本改革、介護職員の大幅な値賃金の上げがどうしても必要です。介護保険制度の改善、憲法25条に基づいたケアが大切にされる社会の実現に向けて、土浦市議会として、地方自治法99条の規定に基づき、国に意見書を提出するようお取り計らいをお願いします。令和7年11月27日、日本共産党土浦市議団、土浦市議会議長、勝田達也殿、以上でございます。

○篠塚委員長 ありがとうございます。それでは、この依頼について取り上げるということによろしいでしょうか。何か御質問はありますか。

(「なし」という声あり)

○篠塚委員長 ないようですので、取り上げるということによろしいでしょうか。

(「異議なし」という声あり)

○篠塚委員長 それでは、内々付託する委員会を決めたいと思いますが、どちらにいたしますか。内容的には文教厚生委員会であると思いますが、いかがでしょうか。

(「異議なし」という声あり)

○篠塚委員長 ありがとうございます。それでは、文教厚生委員会に内々付託することといたします。ありがとうございました。そのほか、委員の皆様から何かありますか。

(「なし」という声あり)

○篠塚委員長 事務局から何かありますか。

○櫻井議会事務局長 ございません。

○篠塚委員長 ありがとうございます。本日の資料で各議員に非公開非公表とするものありますか。事務局いかがでしょうか。

○櫻井議会事務局長 ございません。

○篠塚委員長 ありがとうございました。では、全ての資料を公表といたします。それでは、議会運営委員会を閉会します。お疲れ様でございました。